

シンポジウム「地球温暖化と滋賀県農業について」

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次報告において、地球温暖化は確実に起こっており、その原因が人為起源の温室効果ガスの増加であることなどが報告されています。

加速的に進行する地球温暖化が農業分野にも、深刻な影響を与えることが予測することができ、琵琶湖と共存し持続的に発展する農業を目指し積極的に「環境こだわり農業」を進めてきた滋賀県としても、地球温暖化対策を実践していくことが急務となっています。

そのため、温暖化の影響やこれからの農業に必要な適応策や緩和策について、広く皆さまに知っていただくためのシンポジウムを開催します。

開催日時

平成21年2月9日（月）13:30～16:30【受付13:00～】

開催場所（裏面の地図を参照ください）

「滋賀県農業教育情報センター」2F 第3研修室 TEL 077-523-3900

定員

100名（参加無料、先着順）

農業分野における温暖化対策に関心のある方ならどなたでも参加できます。

申込

裏面の申込書にご記入の上、1月30日（金）までにFAXでお申し込みください。また、メールでの申し込みも可能となっております。

プログラム概要

【講演】

『気候変化が農業に及ぼす影響そして適応・緩和策について
～研究の現状と今後の課題～』

農業環境技術研究所 上席研究員 横沢 正幸 氏

『滋賀県における地球温暖化の現状について』

気象庁彦根地方气象台 調査官 松井 靖裕 氏

【事例報告】

『温暖化の水稻、園芸作物への影響について』

滋賀県農業技術振興センター 栽培研究部長 寺本 憲之

『家畜排せつ物と地域有機性資源を活用したバイオガス発電』

滋賀県畜産技術振興センター 専門員 土井 真也

【パネルディスカッション】

『地球温暖化と滋賀県農業について』

コーディネーター：学習院女子大学 教授 荘林 幹太郎氏

パネリスト：農業環境技術研究所 上席研究員 横沢 正幸 氏

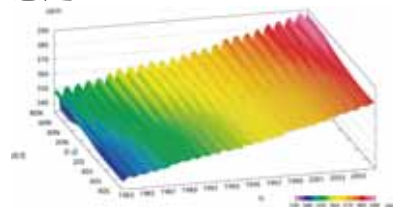
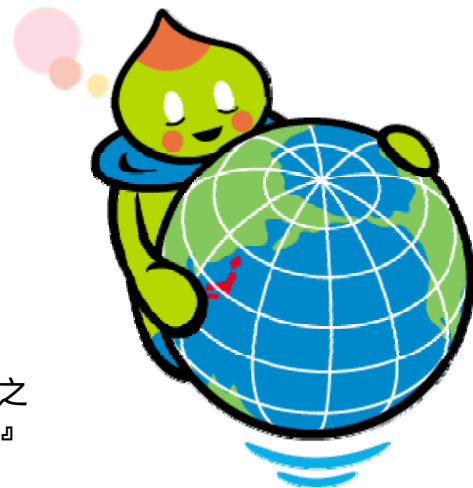
気象庁彦根地方气象台 調査官 松井 靖裕 氏

滋賀県農業技術振興センター 栽培研究部長 寺本 憲之

滋賀県畜産技術振興センター 専門員 土井 真也

主催

滋賀県



シンポジウム申込書

ファックスからのお申し込み

あて先：滋賀県農政課 企画調整担当

FAX：077-528-4880

参加をご希望される方は、1月30日（金）までに、下記にご記入の上、FAXを送付ください。

ふりがな お名前	ご連絡先 電話・FAX・メール等	所属又は住所等

注) 申し込みに係る個人情報につきましては、本シンポジウム以外では使用しません。

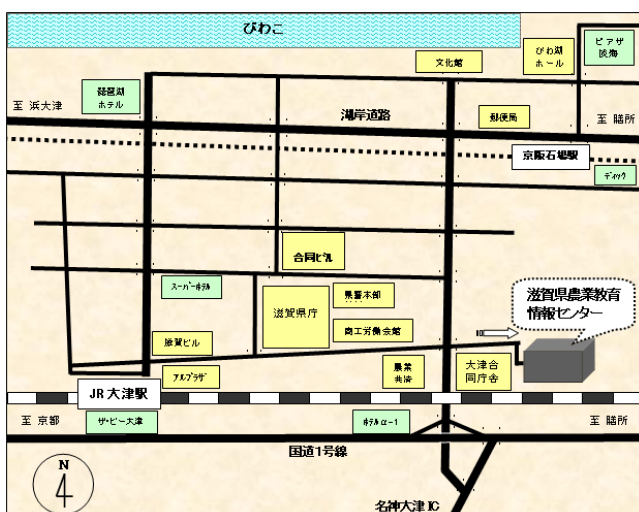
メールからのお申し込み

あて先：滋賀県 農政課 企画調整担当

メールアドレス：ga00@pref.shiga.lg.jp

メールでお申し込みされる場合は、件名に「シンポジウム 地球温暖化と滋賀県農業の申し込み」と記入いただき、本文に「お名前・連絡先・所属」を記入し、上記メールアドレスに送信ください。

会場のご案内



滋賀県農業教育情報センター

JR 大津駅 徒歩 10 分

〒520-0807

滋賀県大津市松本一丁目 2 番 20 号

Tel:077-523-3900

地球温暖化防止のため公共交通機関でご来場ください。

問い合わせ先・申し込み先

滋賀県 農政課 企画調整担当 荒川・奥本

〒520-8577 大津市京町四丁目 1 - 1

電話：077-528-3812

FAX：077-528-4880

メール：ga00@pref.shiga.lg.jp

